

# 関西ぶらり散策

## 大山崎歴史めぐり

実施日:令和7年6月4日(水)

行程:大山崎町歴史資料館→離宮八幡宮→関大明神→瓦窯公園  
→大山崎山荘庭園(昼食)→宝積寺→聴竹居(4班のみ)

### 大山崎町歴史資料館

阪急大山崎駅から徒歩1分のところにある歴史資料館に集合し、大山崎ふるさとガイドの方から大山崎の歴史について説明していただいた。



### 離宮八幡宮

清和天皇の勅命により宇佐八幡宮から勧請され、「石清水八幡宮」と名付けられた。また、かつてこの地には嵯峨天皇の「河陽(かや)離宮」があった所であり「離宮八幡宮」ともいわれる。なお、貞観年間(859年 - 877年)に当宮の神官が搾油器を用いて荏胡麻(えごま)油の製造が始まったことから、日本における製油発祥の地とされている。



### 関大明神

この地は天王山と淀川(桂川)に挟まれ、古くは交通の要衝として関所が設置されており、そこに設けられた神社は関大明神社と名付けられている。

また、関大明神社の横に流れる小川が摂津国と山城国の境であったといわれており、現在でもこの川に沿って府境が引かれている。



## 大山崎瓦窯公園

古代の平安京造営に必要な瓦を生産した遺跡で、12基ののぼり窯が確認されており、国史跡の指定を受けている。



## 宝積寺

大山崎山荘美術館の庭園公園で昼食の後、宝積寺を訪れた。寺伝では神亀元(724)年に聖武天皇の勅命を受けた行基菩薩が建立したと伝えられる真言宗の寺院である。国指定の重要文化財の十一面観世音菩薩、閻魔大王を拝観した。



## 聴竹居 (4班のみ)

建築家・藤井厚二が日本の気候風土と日本人の感性にあわせるとともに、欧風のライフスタイルを取り入れた「環境共生住宅」として1928年に建設された住宅で、2017年に重要文化財に指定された。



(担当 4班)